

設 立 趣 旨 書

今の現代社会は、「孤」の社会。

若いころから夫婦共働きが当たり前で、地域の中での横のつながりもなく、地域活動の中心となる自治会や、小・中学校のPTA組織といったものも担い手が見つからず崩壊の危機にあります。

出産や育児休暇で一時的に会社を離れた若い母たちは、自宅のある地域の中に自分の居場所を見つける事が難しく、また、同様に定年退職で会社を離れた高齢者たちも、地域の中に自分の居場所をなかなか見つけることができずにいます。

そんな社会的な問題を少しでも解決しようと、「みんなのて」では平成31年に子育てサロン「ちっちゃなて」を設立し、翌令和元年にシニア&高齢者サロン「おっきなて」を設立しました。

「ちっちゃなて」は設立翌年から秦野市からの事業委託を受けることとなり、コロナ禍においても休むことなく、常に安定した運営を続け、地域に定着しています。

「おっきなて」も令和5年に秦野市から正式に地域介護予防活動認定を受けることとなり、地域に定着してきました。

また、令和4年度より本格的に活動を始めた「みんなの食堂☆つるまき」では、毎月コミュニティ食堂の運営と食品配布の二本柱の活動を行っています。

これらの、それぞれの居場所づくりを目的とした活動をまとめたものが、「みんなのて」で、「みんなのて」独自の活動としては、設立以来ずっと、サロンの利用者さんたちの交流を目的とした多世代交流イベントを軸として活動してきました。

これらの今までの地域活動はすべてボランティアだけで運営してきましたが、設立時と比べても現在のスタッフ数は半減し、地域における利用者さんたちからのニーズに対して、それを安定提供できるだけのマンパワーが維持できなくなってきました。

新しいスタッフの募集をかけても、現在の任意団体としてのボランティアの条件では新規スタッフの応募の期待もできず、活動の将来的な継続が難しいと判断し、新規ボランティアが安心して社会貢献としての仕事に従事できるよう、労働条件の改善を目的に、情報公開が義務付けられていて活動の透明性や公平性を公開することにより地域住民から信頼が得られやすい特定非営利活動法人を、設立することにしました。

将来的には、スタッフの数が増えたら、他地域で同じような活動をしている団体との交流の機会も増やし、今までのサロン活動でのノウハウを活かしたアウトリーチ的活動も事業の柱のひとつにしたいという構想ももっており、また、今までの利用者さんたちにとっての地域の中のもっとも敷居の低い福祉活動拠点として、赤ちゃんから高齢者までの身近な相談を受けたり、一般的な社会活動が苦手とされる障害者さんたちにボランティア経験の場を提供するなど、地域包括へとつながる窓口のような活動もしていきたいと考えています。

令和6年 9月 17日

法人の名称 特定非営利活動法人 みんなのて

設立代表者 渡部三奈子